

# 専門工事業の採用活動等でキャリアパスモデルを活用しよう！

## 採用活動等でキャリアパスモデルを活用する意義

建設産業は、高齢化や若年者の減少により、将来における担い手の確保や技能・技術の継承という大きな課題に直面しております。優秀な人材に建設業を選択してもらい、入職・定着を促すためには、処遇・やりがい・将来性といった様々な観点において、建設業が他産業よりも魅力的な仕事の場を提供していくことが必要です。

一方、専門工事業に対しては、求職者に加え学校の先生・保護者等も3K（「きつい」「汚い」「危険」）といったイメージを持っている場合も多く、求職者からは、専門工事会社に入社後のキャリアパスに関する情報を求める声があがっています。

こうした状況を踏まえ、求職者等に、技能者がどのような働き方をしているのか実際の姿を正しく理解して頂き、より多くの優秀な人材に建設業を選択してもらうため、国土交通省において、主として新規学卒者を対象として活用されることを念頭においたキャリアパスモデル及び事例集（鉄筋職人、左官職人）を作成しました。

専門工事会社が採用活動をされる際等に、是非ご活用ください。

## キャリアパスモデルの活用方法

### 採用活動等への活用

- 入社後の将来像を描きやすくするため、人材育成、役割、求める技能者像と働き方の多様性を提示。
- 同一業種の中で、現場から工場・事務所あるいはマネジメント的な役割を担う仕事等への配置換え等、キャリアを活かした技能者の将来の可能性を、事例とともに提示
- 各企業等が求職者等に自社の社員・キャリアパスを紹介するための雛形（テンプレート）等として活用

(URL: [http://www.mlit.go.jp/totikensangyo/const/totikensangyo\\_const\\_tk2\\_000097.html](http://www.mlit.go.jp/totikensangyo/const/totikensangyo_const_tk2_000097.html))

### 企業における社員育成・高齢者活用等の体制整備に向けた検討材料

- 各企業の社員教育・育成等の体制整備に向けた検討材料として活用
- 高齢技能者の働き方として、現場での作業従事に加え、OJT訓練指導員、あるいは安全・品質管理を指導する者として活躍されている事例の提示により、高齢者活用に向けた検討材料として活用